

表3 稚ウニ養成概要

8t水槽No.	収容日	ウニ状態	収容数(万)	水槽状態	経過	備考
1回次幼生飼育群						
8	8/17	稚ウニ	7.8	波板直置	全滅	7ナ7オサ給餌後全滅
3回次幼生飼育群(1t水槽後期幼生移槽)						
6	11/1	後期幼生	20(8)	波板、二重底	全滅	1t槽3槽より
5	11/2	後期幼生	12(6)	波板直置	1~1.5千	1t槽2槽より
3回次幼生飼育群(1t水槽稚ウニ移槽)						
7	11/20	稚ウニ	5	波板、二重底	1万生残	1t槽5槽7ナ7オサより
3	11/22	稚ウニ	3	波板直置	11/27全滅	1t槽5槽底より
3回次幼生飼育群(8t水槽)						
9	10/3	孵化幼生	12(分槽後)	波板なし	3千	幼生飼育より
10	10/30	後期幼生	24	波板なし	7千	8t-9より分槽
2A	11/24	稚ウニ	2.8	トリカルネット板	11/27全滅	8t-9,107ナ7オサより
13	12/28~1/12	稚ウニ	1.1	波板直置	1~1.5千	8t-9,10より
2B	12/22~28	稚ウニ	1.3	波板直置	2~3千	8t-9,11より
3	12/19~22	稚ウニ	1.3	波板直置	2~3千	8t-9,12より
4	1/18	稚ウニ	0.5	波板直置	1~1.5千	8t-9,13より

しかし、アオノリ類給餌による飼育や珪藻飼育時にも大量斃死が発生しているため、餌料藻の他に、疾病の可能性もある。今後これらの原因究明が必要である。

#### 中間育成

今年度は、波板飼育の段階で1cm以上の大きさまで養成しており、中間育成は一部大型個体で開始した程度で、まだ殆ど行われておらず、次回に報告する。